

## 6. コロンビアの日常3

天理教コロンビア出張所長  
清水 直太郎 Naotaro Shimizu

ラテンアメリカとコロンビアの警備業界：民間警備機関の概要その3

アパートやマンション、コンドミニウム（集合住宅）、公園、駐車場、スーパーマーケット、ショッピングモールなど、いたるところに警備員がいる。コロンビアでは、彼らのほとんどが「武器」を所持している。「コロンビア国内には、警備監視局のデータによれば、856の民間警備会社が存在し、警備産業関係企業は約67億ドルの事業を担っている。雇用人数で言えば、28,000人以上のボディガードと297,000人の警備員が雇用されているという。<sup>(1)</sup>」

また興味深いのは、警備従事者の性別である。「実際の運用警備員に関し、ボディガード（護衛）部門で許可された実行員は28,658人中、28,190人が男性であり、468人が女性。また警備部門で297,113人中、男性は261,046人、女性は36,087人という統計が出ている。また、犬を使った警備は全体が4,456人で、その中で4,221人が男性、235人が女性である。」<sup>(2)</sup> 民間警備に関しては、女性警備員が比率は低いとはいえ、存在することを認識した。

このほか、前回の資料にもあるように、治安が90年代よりも回復したとはいえ、世界では犯罪件数、殺人率の高い国の一つであることには変わらない。最近の例をあげるならば、コロンビアでは2019年の7月～12月の下半期だけで11,000人が殺され、窃盗犯罪は158,000件に及んでいる。このことは、公共の場、施設、公共交通機関のみならず、教育期間、企業など全ての場所は「民間警備」の必要性を産みだしているのだ。<sup>(3)</sup>

カリ市では、2020年の殺人の被害者数は13.2%と増えている。「月の中でもっとも多かったのは5月と6月で、それぞれ175人と156人と記録されている。」<sup>(4)</sup> 大阪や神戸くらいの都市で、1カ月に160人も殺害されているのである。至るところに民間の警備が配置されている理由にうなずくことができる。

### 民間警備の実情

では、この民間警備会社の収益はどれくらいあるのだろうか、と調べてみると、驚くべき数字が出てくる。例えば、コロンビアの最大大手の警備会社ブリンクス (Brinks) は2018年の利益は2,830億円以上であり、この額はなんと日本の大手精密機器会社のキャノンの営業利益と同じなのである。<sup>(5)</sup>

さて、実際の民間警備会社の実態を調べたいと思い、今回天理教コロンビア出張所が契約しているビセコル (Vise-Col) という会社の地区主任にインタビューをすることができた。地区主任というのはカリ市では北地区主任と南地区主任の2名が担当しているポストである。

### 警備現場：

1. 民間警備会社における「住居警備」の主な義務は何か？  
一周知の通り、物品に対してもですが、第三者や他からの誘拐、殺人、窃盗から守ることです。つまり、住居に住んでいるメンバー全員の安全はもちろん、例えばこの出張所であれば、出入りしている日本語教室の生徒、信者、すべての訪問者などの安全が第一の義務です。

殺人や窃盗の多い地区ではそれなりの対策をしています。カリ市は全国に比べても殺人や窃盗の多いことで知られています

が、カリ市全域で件数が多いわけではありません。ここ(出張所)がある地域は殺人・窃盗などの件数が低いですが、そうした地域差の状況に応じて対応しています。

2. 貴社「ビセコル」では一人前の警備員としてはどのような訓練を施しているか？

—毎月訓練を行っています。本社では3カ月に一度です。また、どんな人でも警備員になれるわけではありません。新人に対しては厳しく選択を行い、軍隊式の訓練、様々な訓練の末警備員になれるわけです。その専門的な訓練は人にもよりますが、大体、平均1カ月から1カ月半ほどです。必要な知識を身に付けてもらうほか、人間としての精神的な訓練も行います。

警備員の適正な年齢は20歳から45歳までです。兵役を終えた者、警察職、海軍、陸軍の経験者などの若者は、特に優秀な警備員として育成します。規律や道徳観念もしっかりしていますからね。

3. 警備員として、してはいけないことは何か？

—当たり前ですが、警備員は常にしなければいけないことと、してはいけないことを考えて行動しています。その項目は民間警備会社「ビセコル」としてではなく、国家によって厳しく定められています。

例えば、警備員は警備員としての労働時間には100%警備に専念しなければなりません。その間にはメッセージャーの行為を含め、警備以外の行為は禁止されています。また、その時間には車両の使用、警備員に対しての訪問者などについても規制を受けています。

4. 民間警備は、国家の市民に対する防御の弱体によって拡大しているという意見に対して：

—官営の警備はもともとそんなに大きくなく、色々な警備の需要に応えられないのが事実です。そうすると民間のサービスは、細かいところまで届くから需要が増えているのではないのでしょうか。

「警備産業」は、コロンビアを含むラテンアメリカ社会では、当分衰退することはないだろう。

### [註]

(1) “El negocio de la seguridad privada en Colombia genera casi 7 billones de dólares anuales” 26 de febrero de 2020. <https://notesdeseguretad.blog.gencat.cat/2020/02/26/el-negocio-de-la-seguridad-privada-en-colombia-genera-casi-7-billones-de-dolares-anuales/>

(2) *ibid.*

(3) “JUDICIAL Brinks de Colombia, Fortox y G4S Secure lideran el total del negocio de la seguridad” 3 de febrero de 2020. <https://www.larepublica.co/empresas/brinks-de-colombia-fortox-y-g4s-secure-lideran-el-total-del-negocio-de-la-seguridad-2959326>

(4) *El País*. 1月4日号第1面。

(5) “JUDICIAL Brinks de Colombia, Fortox y G4S Secure lideran el total del negocio de la seguridad” 3 de febrero de 2020. <https://www.larepublica.co/empresas/brinks-de-colombia-fortox-y-g4s-secure-lideran-el-total-del-negocio-de-la-seguridad-2959326>

(6) 『日刊工業新聞』、2022年5月31日。nikkan.co.jp/articles/view/605903

(7) 以下、2022年4月15日ノスフェル南地区主任とのインタビュー。